

最先端研究開発戦略的強化事業調整会合 議事概要

- 日 時 平成 23 年 6 月 9 日（木）11:45～12:00
- 場 所 合同庁舎 4 号館第 3 特別会議室

- 出席者 相澤議員、本庶議員、奥村議員、今榮議員、白石議員、青木議員、中鉢議員、
金澤議員、泉統括官、梶田審議官、吉川審議官、大石審議官

- 議事概要

議題 1. 最先端研究基盤事業について

<文部科学省説明>

- 本庶議員 別紙 2 で、選定時の有識者というのはどなたのことでしょうか。この選定検討会の有識者の意見ということなのでしょうか。

また、この事業は、総額 564 億でありますので、この事業の今後の評価・計画等々どのような方向で考えておられるのかご説明いただきたいと思います。

- 文部科学省 まず 1 点目につきましては、ご指摘のとおり、昨年選定いただいた有識者の方ということで、これはプー 4 - 1 の 1 枚目の一番下に書いてございます。昨年は 7 名の方にお問い合わせをしたわけですが、今回の書面調査はそのうちのお二人ずつにお問い合わせということでございます。

それから、この事業全体の今後についてということですが、当然ながら最長 3 年間という計画ですので、年度年度で進捗状況の把握は当然させていただきます。それから、終わった際の事後評価ということも、これも行っていくということでございます。現時点ではこの計画に沿って行っていけないかというように考えてございます。

- 本庶議員 そうすると、その評価結果が総合科学技術会議にあがってくると、そういうように理解していいのですね。

- 文部科学省 まず、この最先端研究基盤事業につきましては、平成 22 年 4 月に総合科学技術会議で運用基本方針を定めていただいております。その中で評価につきましては文部科学省は支援期間終了、つまり 3 年間でございますが、各研究テーマの特徴を踏まえつつ評価を実施することになっております。この場合、支援の対象となった機関が行う自己評価を踏まえて行うことを基本とされており、すなわち、各機関が行います自己評価を踏まえまして文部科学省で評価を行った後、総合科学技術会議のほうにご報告をさせていただくということになっております。

- 本庶議員 要するに文科省で自己評価に対しての評価委員会をつくられて、まとめた結果を総合

科学技術会議に報告いただくと、そういう理解ですね。

○文部科学省 はい。

○奥村議員 今回の問いかけはこの継続2件についての承認も求められているのでしょうか、我々は。了解というのでしょうか。それはいいですね。

○文部科学省 これはご報告申し上げたということでございます。

○奥村議員 そうですね、これは。

○相澤議員 先ほどの基本方針のところにありますように、文科省が事業を実施し、かつ評価までを行い、それを最終的には総合科学技術会議に報告をいただくというスキームであります。ただ、今この現段階で初年度終わったのでその評価と実施状況とを報告いただいたということだと思います。

○奥村議員 先ほどのこともあるので一言申し上げます。要するに、この2事業についてはどう理由で継続可否の検討対象になったのかと、ある課題があったから恐らく対象になったと思うんですね。それが何であって、それに対してどういう答えを出したから継続が認められたと、この委員会で、そういう何か起承転結がわかるような報告をいただくともう少し我々も理解できる。

○文部科学省 説明を省略してしまったのですけれども、別紙2をご覧くださいと思います。化合物の方につきましては、ご意見として、1つは拠点を公募して競争的に選んではどうかというご意見と、それから当初は30拠点というお話もあったのですけれども、それでは費用対効果が悪いのではないかと、また、初年度は5拠点程度にというお話もございました。それを受けて、22年度の実際の実施に当たっては、その下のポツにございすけれども、ご指摘のとおり公募でやりました。それから、5拠点程度といいますか、6か所の大学に絞ってこれを実施するという対応したということでございます。

それから、e-サイエンスのほうは若干抽象的なのですけれども、さまざまなデータを取り扱うということ、いろいろな分野からのデータを取り扱うということもございまして、共同研究体制の充実を合わせて図っていかないといけないというようなご指摘もございました。それを受けまして、これも抽象的な答えなのですが、書面審査でご意見いただきましたように、1つは引き続き推進することが適当であると、これは結論でございますけれども、それから実際の実施状況を見ても十分困難さと言いますか、いろんなデータを扱うという困難さを克服してやっているのではないかとご所見をいただいたということでございます。

○奥村議員 感想を申しますとね、これ30億円を投入するかどうか決める話ですよ、より具体的に言えば。逆に言うところのこのぐらいの議論で決まっているということですね。

○文部科学省 すみません、資料ではエッセンスだけ書いてございますけれども、当然ながら書面審査の際にはさまざまな資料を基にいろんな意見をお出しいただいてやったということで、この数行で決まったということではもちろんございません。

○相澤議員 奥村議員のご指摘は、そういう評価とさらに継続するかどうかの判断をしているのに、こういう意見の羅列ともみられる形式で進んでいるのかということに対してのご指摘であり、これではやはりそういうことを決定したという形にはなっていないので、ぜひ、

そのところを明確にしてほしいというように理解していただいて、今後の対応はお願いしたいと思います。

(以 上)